

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道299号飯能狭山バイパス <small>はんのうきやま</small>	事業区分 一般国道	事業主体 埼玉県		
起終点 自：埼玉県飯能市飯能 <small>さいたまけんはんのうしはんのう</small> 至：埼玉県狭山市笹井 <small>さいたまけんさやましざさい</small>	延長 5.6km			
事業概要 一般国道299号は、長野県茅野市から埼玉県入間市に至る延長203kmの幹線道路である。飯能狭山バイパスは、現道の交通混雑の緩和と、圏央道狭山日高ICへのアクセス強化を目的としたJR八高線との立体交差を含む延長約5.6kmの4車線道路である。				
S56年度事業化	S55年度都市計画決定	S56年度用地着手		
S56年度工事着手				
全体事業費	192億円	事業進捗率		
		97%		
計画交通量	12,000台/日	供用済延長		
		5.0km		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 4.2	総費用 (残事業)/ (事業全体) 18/39億円 (事業費: 13/34億円) (維持管理費: 5/5億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 75/75億円 (走行時間短縮便益: 69/69億円) (走行費用減少便益: 4/4億円) (交通事故減少便益: 2/2億円)	基準年 平成15年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道における踏切道（飯能街道踏切等）の交通改善が期待される） ・災害への備え（第1次緊急輸送道路として位置づけあり） 他4項目に該当（定量的評価項目を含む）				
関係する地方公共団体等の意見 群馬県上野村をはじめとする3市4長2村の首長で構成される国道299号整備促進既成同盟会より、早期整備の要望（平成14年7月30日）をうけている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 <small>はんのう</small> 現道は飯能市街を通過しているうえ、西部池袋線との踏切があり飯能市内はにおける渋滞は深刻化している。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収が完了しており、早期の供用開始に向け工事を推進している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成15年度に、JR八高線を渡る区間を除き供用開始しており、現在残る立体交差部分の供用に向け工事を進めている。				
施設の構造や工法の変更等				
対応方針 事業継続				
対応方針決定の理由 以上の事を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図				

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。